

天理教北旭道分教会 会報

いつも当教会に心を寄せて頂きまして誠にありがとうございます。皆様方におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。今回は、新任教会長の集いに参加させて頂いた事、現在取り組んでいるホームページ、そして心理カウンセラーの認定取得に関する事を掲載させて頂きます。

【2月27日 新任教会長の集い】
昨年4月に五代目教会長として就任して早10ヶ月が経過しました。教会長として、どのように進めば良いか、まだまだ手探りな状態で、皆様方にもご迷惑をお掛けしております。2月27日に新任教会長の集いに夫婦揃って参加させて頂きました。例年でしたら2日間開催され、夜には真柱様との御小宴もあるのですが、コロナ禍であり、1日のみの開催でした。集いでは、表統領の宮森先生のお話を始め、大変ためになるお話を聞かせて頂きました。また、

教会長と配偶者とに分かれて「ねりあい」をさせて頂きました。ねりあいでは同時期に教会長になられた方々と、様々なテーマ

についてお話をさせて頂きました。子供食堂でお弁当配布している、イライラしない子育て講座の開催をお手伝いしているなど、皆さんコロナ禍ではありませんが、様々な分野で頑張っているという事が解り、とても有意義なねりあいをさせて頂きました。今後、私自身同じことはできませんが、これらの事をヒントに、今、自分に出来ることを模索していきたいという思いにさせて頂きました。そのいくつかを紹介させていただきます。私の46歳の誕生日でした。身も心も大きくなった?と思います。



【教会ホームページの立上げ】

1月より少しずつではありますが、当教会のホームページを作成してきました。完成度としては、まだまだ十分とは言えないかもしれませんが、十全の守護、元の理について、そして毎月の月次祭での講話を掲載しています。また、お悩み相談をうけるための問い合わせページを設けております。今後、様々な悩みがある方をお助けできるようにという思いから作成させて頂きました。皆様もお時間がありませんら一度閲覧して頂ければ幸いです。Google Mapで天理教北旭道分教会と検索して頂くとうエブサイト情報が出てきます。



【心理カウンセラー資格取得】

コロナ禍であります。自分に出る事を考え、前述したホームページから相談を受けた際に、教理も中途半端でどのように解決させてもらえれば良いかわからないまま相談を受ける事は、無責任であると考え、心理カウンセラーの資格取得を目指して勉強しております。現在は、基礎であるメンタル心理

カウンセラーの受講を終え、検定試験を受けるところです。さらに上級カウンセラー資格を取得するための講座を受講しています。少しずつですが、自分の出来ることを増やして様々な悩みを持つているかたのお役に立てればと考えています。身近に悩みを抱えている方がいましたら、ご連絡頂ければ幸いです。相談は無料で受け付けています。

【10月26日 秋季大祭】

10月26日は立教の元一日の日柄にあたります。ご本部で参拝させて頂いた帰路で当教会の提灯を見つきました。今後、提灯を吊るす事も行わなくなると言われていますので、自教会の提灯を見つければ、最後かもしれないませんが、この立教の日に見つけることが出来た事は、喜ばしい事かと思えます。



【十全の守護を学ぶ】
第3回

くにさづちのみこと 様

(国狭槌命 様)

人間身の内の女の一の道具、皮つなぎ、世界では万つなぎの守護の理。方角・東南(巽)

天でのお姿・源助星

人間創造時のお姿・亀

ほこり・「うらみ」

体面を傷つけた、望みを妨げた、人がどう言ったらと自分の不徳を思わず、人を恨み根に持つような心。妊娠3ヶ月目の理・筋、皮

人間の身体では、皮膚と皮下組織、内臓皮質、筋肉の働くと、女性の生殖器官の働きの守護をして下さり、世界では人と人との関係、すなわち縁談、家族、金銭関係、経済を司る守護をして下さる女神様。皮つなぎのご守護で包まれているから、人間をはじめとする、生き物の姿形・個体ができる。個が縁で結ばれて夫婦・家族ができる、家族と家族が繋がれて社会ができる。また、女一の道具の働きで子供が生まれ、親子・子孫のつながりが出来る。世界の経済が繋がり、各々の衣食住が確保される。

これ全て、くにさづちのみこと様のお働きであります。

くにさづちのみこと様の御心は、踏ん張り強く、心を倒さず辛抱し、切れることなく繋ぎに繋いでいく心。傷も綻びも繕い納めていく心。亀のように低い姿勢で、頭を低くして通る心であります。

この神様の御心にかなうのが、「たんのう」と「つなぎ」そして「お尽くし」であります。慎みの心を持ち、不足の心を無くし、日々の与えを喜ぶのがたんのう。そのお与えへの報恩の心をお供えするのがおつなぎ。いんねん切り替へと徳積みの上から、おちば・教会や社会の御用の上に、身を削って捧げ切るのがお尽くしであります。

こうまん心から突っ張り偉ぶる心、つなぎの心を欠いて他人の心を傷つけるむごい心、人の間違いを根にもつ恨む心は、この神様の御心にかないません。「たんのう」を忘れ、身惜しみをして報恩の道を閉ざしますと、湿疹、炎症、切り傷、火傷、潰瘍、骨肉腫などに現れ、女の道

具の使い方の誤りは、子宮など生殖器の障りになりますから、ならんと言えば「はい」、いかんと言えば「はい」と言うて、切れるところを繋ぐ態度、物への執着を無くし、報恩のつなぎ・尽くしに徹する態度が肝要であります。

元の理を表す円環図

